

沿革の概要

明治	6年(1873)	創立。寛栗小学校と名称し、真照寺内に仮設
	7年(1874)	旧下新川郡最初の創立校舎を現在地に新築(4教室)、完工7月15日
	28年(1895)	若栗尋常小学校と改称
大正	5年(1916)	木造の新校舎竣工
昭和	3年(1928)	講堂増築
	16年(1941)	桜井町立若栗国民学校と改称(国民学校令制定による)
	22年(1947)	桜井町立若栗小学校と改称(学制改革による)、PTA発足
	29年(1954)	黒部市立若栗小学校と改称(市制発足)、二宮尊徳像寄贈辻谷直作氏
	36年(1961)	講堂新築
	48年(1973)	創校100周年記念式典(鼓笛隊パレード実施)、校旗新調、運動場竣工
	49年(1974)	鉄筋校舎第1期工事完成
	50年(1975)	新校舎竣工
	51年(1976)	交通安全旬間に合わせ鼓笛隊パレード実施
	52年(1977)	プール竣工
	53年(1978)	花壇整備(PTA等による)
	54年(1979)	富山県準健康優良学校表彰、入学式でヘルメット贈呈始まる
	57年(1982)	グラウンド照明施設完成、スキー山造成
	58年(1983)	グラウンド防球ネット施設・相撲場完成、創校100周年記念の前庭完成
	60年(1985)	新館(体育室、ランチルーム、ミーティングルーム)竣工
	61年(1986)	屋外運動場完成(9,754㎡)
平成	4年(1992)	県統計教育研究会授業研究発表会
	5年(1993)	創校120周年校舎大規模改修第1期工事完成
	6年(1994)	校舎大規模改修第2期工事完成、校舎改築記念事業、県土美化功労表彰
	7年(1995)	才能開発実践教育賞受賞
	8年(1996)	中部管区交通安全団体功労賞受賞
	10年(1998)	学校安全にかかわる文部大臣表彰受賞
	13年(2001)	全日本教育工学研究協議会全国大会、コンピュータ教育研究協議会全国大会、全日本情報教育研究協議会全国大会授業研究発表会
	14年(2002)	文部科学省、県指定「豊かな体験活動推進事業」実施校、ブロック交流会事例発表
	16年(2004)	県学校保健研究推進校(2年間)、二宮尊徳像寄贈丸田石材工業
	17年(2005)	県小学校教育研究会指定保健部会(県東部)(2年間)、創意工夫育成功労学校賞受賞
	18年(2006)	黒部市・宇奈月町合併による黒部市発足により黒部市立若栗小学校となる。 県社会福祉ボランティア活動推進校(3年間)
	19年(2007)	文部科学省委託「子どもの生活リズム向上のための調査研究」実施校
	20年(2008)	とやま環境財団富山県県土美化推進功労者表彰、幼保小育ちの架け橋事業実施校
	24年(2012)	県花のまちづくりコンクール学校花壇部門最優秀賞受賞、第25回大谷化学賞受賞
	26年(2014)	花とみどりの少年団結成
	27年(2015)	第26回全国「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰
令和	2年(2020)	GIGAスクール構想により、Wi-Fi環境整備、全校分タブレット設置
	3年(2021)	県小学校教育研究会 算数科研究推進校指定(県東部)(2年間)
	4年(2022)	県花のまちづくりコンクール学校花壇部門最優秀賞受賞
	5年(2023)	創校150周年、河川功労者賞受賞、全国花のまちづくりコンクール文部科学大臣賞受賞